

福島第一原子力発電所 4号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果<1/2>

(データ集約 : 6/26)

採取場所	4号機原子炉建屋① (排気フィルタ出口) (粒子状フィルタ)		4号機原子炉建屋② (排気フィルタ出口) (チャコールフィルタ)		4号機原子炉建屋③ (SFP近傍) (粒子状フィルタ)		②告示濃度限度* (Bq/cm ³)
試料採取日時	2017年6月7日 8時38分～11時38分		2017年6月7日 8時38分～11時38分		2017年6月7日 8時55分～9時55分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03

* 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第2第四欄：放射線業務従事者の呼吸する空气中の濃度限度)

※ 〇.〇E-〇とは、〇.〇×10^{-〇}と同じ意味である。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約9E-8Bq/cm³、Cs-134が約9E-8Bq/cm³、Cs-137が約9E-8Bq/cm³。

粒子状のI-131が約1E-7Bq/cm³、Cs-134が約1E-7Bq/cm³、Cs-137が約1E-7Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 4号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果<2/2>

(データ集約 : 6/26)

採取場所	4号機原子炉建屋④ (SFP近傍) (チャコールフィルタ)		4号機原子炉建屋⑤ (チェンジング近傍) (粒子状フィルタ)		4号機原子炉建屋⑥ (排気フィルタ入口) (粒子状フィルタ)		②告示濃度限度* (Bq/cm ³)
試料採取日時刻	2017年6月7日 8時55分～9時55分		2017年6月7日 7時39分～8時39分		2017年6月7日 4時35分～5時35分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03

* 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第2第四欄：放射線業務従事者の呼吸する空气中的濃度限度)

※ O.OE-Oとは、O.O×10^{-O}と同じ意味である。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約1E-7Bq/cm³、Cs-134が約1E-7Bq/cm³、Cs-137が約1E-7Bq/cm³。

粒子状のI-131が約1E-7Bq/cm³、Cs-134が約1E-7Bq/cm³、Cs-137が約1E-7Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。